

《そう合問題11》
もんだい

いろいろなしゅるいの文章問題をといてみよう。問題を
とくときは、本文をよく読み、内ようをしつかり理かいす
ることが大切です。

【例題】

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。

学校の帰り道、ユイとナミは、おしゃべりをしながら歩
いています。十月の空は晴れて、気持ちのいい風がふいて
います。

ユイがナミに聞きました。

「ねえ、ナミ。花うらないって知ってる。」

「知らない。ひまわりがすきだと、元気な人とか、バラが
すきだと、気取ってる人とか、そういううらないのこと
なの。」

と、ナミ。

それを聞いてユイは言いました。

「そうじゃなくて、花びらを使って、うらないをするの。
たとえば、すきな人ができたときに、相手が自分のこと
をどう思っているか、気になるでしょ。そんなとき、花
びらでうらなうんだって。お母さんに教わったんだ。」

「へえ、どうやってやるの。」

と、ナミ。

「まず、花を一つ手に持ちます。そして、『すき』、『きらい』、
『すき』、『きらい』……と言いながら、花びらを一まいずつ
取っていきます。」

ちよつと気取って、ユイはせつ明を始めました。

「そのうち、花びらが、最後の一まいになります。それが、
『すき』か『きらい』のどちらになるかで、うらないます。」
「そうやって、うらなうのね。」

と、ナミが言いました。

(問) 花うらないは、どのようにうらないますか。()

にあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。

花を一つ手に持ち、「すき」、「きらい」と言いながら、
(ア) (ア) を一まいずつ取っていく。そして、(イ) (イ) の
花びらが、「すき」か「きらい」の、(ウ) (ウ) をうらなう。

【答え】

- ア 花びら ① 最後の(一まい)
- ウ どちらになるか

【かいせつ】

花うらないのやり方は、ユイが知っているので、ユイの
言葉、「まず、く取っていきます。」と、「そのうち、くうら
ないます。」からさがします。

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。

学校の帰り道、ユイとナミは、二人で、花うらないについて話しています。はじめて花うらないを知ったナミが、言いました。

「でも、『すき』『きれい』って言いながら、一まいずつ花びらを取っていくのって、ちよつと、めんどうくさいかも。」

「まあ、それはそうかもしれないけど……。」

と、ユイ。

「十円玉を投げて、表が出たら『すき』で、うらが出たら『きれい』ってことにしたら、一回でできてかんたんだよ。」

「ナミ、それじゃあ、さっぱりしすぎじゃない。すぐに決まっちゃったら、どきどきしないし……。」

「そうかなあ。じゃあ、花うらないをすることにして、花はどんな花を使うの。」

と、ナミがユイに聞きました。

「そうか。そういえば、どの花でうらなうのか、聞かなかった。今度、お母さんに聞いておくれ。」

そう言うと、ユイは、ナミとわかれて、家に帰りました。

ナミと、花うらないの話をした夜、ユイは、お母さんに聞きました。

「ねえ、お母さん。花うらないには、どんな花を使うの。」

「そうねえ。ユイが知っている花って、どんな花があるの。」

「うーん。タンポポとか、ヒマワリとかかなあ。あとは、

学校で育てている、アサガオとか、ヘチマとか。」

「タンポポねえ。一まいずつ取っていくには、花びらが小さいかなあ。それに、花びらの数がとても多いし。ちよつと調べてみようか。」

二人は、タンポポの花びらについて、インターネットで調べてみることにしました。

(一) 花うらないについて、ナミは、どう思いましたか。次のア～エからえらぼう。

ア 楽しそうだと思った。

イ めんどうくさいと思った。

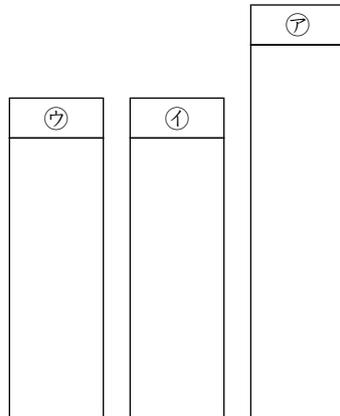
ウ やってみたいと思った。

エ できるかなと思った。



(2) ナミは、どんなうらない方がいいと言いましたか。
 () にあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。

- (ア) を投げて、
- (イ) が出たら「すき」で、
- (ウ) が出たら「きらい」、といううらない方。

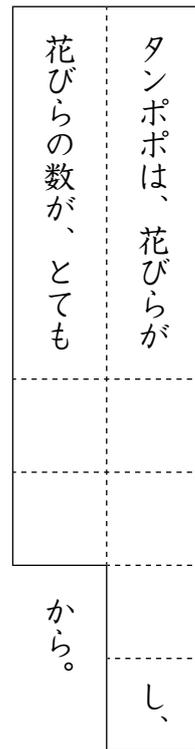


(3) ユイが知っている花に、あてはまらないものを、次のア〜カから全て^{すべて}えらぼう。

- ア タンポポ
- イ サクラ
- ウ アサガオ
- エ ヒマワリ
- オ コスモス
- カ ヘチマ



(4) タンポポは、花うらないに向かないと、お母さんは思いました。それは、なぜですか。空らんにあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。





次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。

ユイとお母さんは、花うらないに使う花について、話をしています。

「そうだ。お母さんは、きれいな花を見つけると、スマホで写真をとってるのよ。それを、いっしょに見てみようか。」

二人は写真を見始めました。

「これなんかどう。ぴったりじゃない。」

お母さんは、花びらがきれいにならんでいる。花の写真を見せました。

「すごくきれい。花の名前はなんていうの。どこに書いていたの。」

と、ユイ。

「これはね、サザンカよ。駅前の公園にさいていたの。」

「これが、サザンカなんだ。」

と、ユイは言いました。

「そう。これなら、花びらが大きいから、花うらないに使えるかもしれないわね。ところで、ユイ。『サザンカ』って、漢字でどう書くか知ってる。」

「どういう字なの。」

「『山茶花』って書くのよ。ユイも、もう習っている漢字でしょ。」

「うん。全部書けるよ。」

と、ユイはとくいそうに言いました。

「では、問題です。サザンカと、よくにている花は、なんでしょうか。」

「えーとね。見たことがあるような気がするけど……。」

「十二月くらいから、図書館の前の道にさき始める花よ。とお母さんがヒントをくれました。」

「分かった。ツバキだ。」

「当たり。サザンカとツバキは、花があるときには、見分けやすいのよ。花がちるときに、花びらが落ちるのがサザンカで、花ごと落ちるのがツバキよ。」

「すごい。お母さん、よく知ってるんだね。」

(1) — ①線部「花の写真」について、次の三つの問いに答えなさい。

A この花の名前は、なんですか。

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。

学校の帰り道、ユイとナミは、二人で、花うらないについて話しています。はじめて花うらないを知ったナミが、言いました。

「でも、『すき』『きれい』って言いながら、一まいずつ花びらを取っていくのって、ちよつと、めんどうくさいかも。」

「まあ、それはそうかもしれないけど……。」

と、ユイ。

「十円玉を投げて、表が出たら『すき』で、うらが出たら『きれい』ってことにしたら、一回でできてかんたんだよ。」

「ナミ、それじゃあ、さっぱりしすぎじゃない。すぐに決まっちゃったら、どきどきしないし……。」

「そうかなあ。じゃあ、花うらないをすることに、花はどんな花を使うの。」

と、ナミがユイに聞きました。

「そうか。そういえば、どの花でうらなうのか、聞かなかった。今度、お母さんに聞いておくね。」

そう言うと、ユイは、ナミとわかれて、家に帰りました。

ナミと、花うらないの話をした夜、ユイは、お母さんに聞きました。

「ねえ、お母さん。花うらないには、どんな花を使うの。」

「そうねえ。ユイが知っている花って、どんな花があるの。」

「うーん。タンポポとか、ヒマワリとかかなあ。あとは、

学校で育てている、アサガオとか、ヘチマとか。」

「タンポポねえ。一まいずつ取っていくには、花びらが小さいかなあ。それに、花びらの数がとても多いし。ちよつと調べてみようか。」

二人は、タンポポの花びらについて、インターネットで調べてみることにしました。

(1) ー線部「ちよつと、めんどうくさい」とありますが、ナミは、何がめんどうくさいのですか。() にあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。

「すき」「(ア)」と言いながら、(イ)花びらを取っていく、花うらないのやり方。

①	ア
---	---

(2) ナミは、何を使ってうらなうのが、かんたんと言いましたか。



次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。

ユイとお母さんは、花うらないに使う花について、話をしています。

「そうだ。お母さんは、きれいな花を見つけると、スマホで写真をとってるのよ。それを、いっしょに見てみようか。」

二人は写真を見始めました。

「これなんかどう。ぴったりじゃない。」

お母さんは、花びらがきれいにならないでいる花の写真を、ユイに見せました。

「すごくきれい。花の名前はなんていうの。どこに書いていたの。」

と、ユイ。

「これはね、サザンカよ。駅前の公園に書いていたの。」
 「これが、サザンカなんだ。」
 と、ユイは言いました。
 「そう。これなら、花びらが大きいから、花うらないに使えるかもしれないわね。ところで、ユイ。『サザンカ』って、漢字でどう書くか知ってる。」

「どういう字なの。」

「『山茶花』って書くのよ。ユイも、もう習っている漢字でしょ。」

「うん。全部書けるよ。」

と、ユイはとくいそうに言いました。

「では、問題です。サザンカと、よくにている花は、なんでしょうか。」

「えーとね。見たことがあるような気がするけど……。」

「十二月くらいから、図書館の前の道にさき始める花よ。と、お母さんがヒントをくれました。」

「分かった。ツバキだ。」

「当たり前。サザンカとツバキは、花があるときには、見分けやすいのよ。花がちるときに、花びらが落ちるのがサザンカで、花ごと落ちるのがツバキよ。」

「すごい。お母さん、よく知ってるんだね。」

(一) 写真の花の名前を、カタカナと漢字で答えなさい。

漢字	カタカナ

(2) お母さんは、花の写真を、どこでとりましたか。本文中から、五字でぬき出そう。

(3) 線部「サザンカと、よくにている花」について、次の二つの問いに答えなさい。

A この花の名前は、なんですか。

--

B サザンカと、Aの花がちるときのちがいを、次のようにまとめました。空らんにあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。

サザンカの花がちるときは、(ア)が(イ)けれど、Aの花がちるときは、(ウ)。

ウ

ア

①



次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。

ユイとお母さんは、花うらないに使う花をさがして、お母さんがスマホでとった、花の写真を見えています。



「この花なんか、ピタリじゃない。花びらの数も、そんなに多くなさそうだし。」

と、お母さんは上の写真を見せられました。

「へえ。花火みたいできれい。花びらが、取りやすそうだね。この花の名前はなんていうの。」

と、ユイ。

「これはね、マーガレットよ。」

「どこにさいていたの。」

「公園のはずれの空き地よ。ちょうど、夕立がやんだ後にとったのよ。」

「そうなんだ。これは、雨のつぶだったんだ。」

「こんな花もあるわよ。」

お母さんは、べつの写真を見せてくれました。

「花びらが丸いのが、オオマツヨイグサ。角ばっているのが、ツルニチソウよ。でも、ひと目見ると、花びらが何まいあるかが分かるから、うらないのけっかも、すぐに分かっちゃうわね。」

「そうか。オオマツヨイグサの花びらは、四まい。ツルニチソウの花びらは、五まい。『すき』、『きれい』……と、じゆん番に取っていったとすれば、オオマツヨイグサでうらなうと、『きれい』になって、ツルニチソウでうらなうと、『すき』になるんだね。」



(1) 一つ目の花を見たとき、ユイは、その花を何にたとえていますか。

Empty rectangular box for the answer to question (1).

(2) 線部「雨のつぶ」とありますが、これが写真に写っていたのは、なぜですか。空らんにあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。



(3) オオマツヨイグサと、ツルニチソウの、それぞれの花
 びらのとくちょうを、まとめました。
 言葉、本文中からぬき出そう。

にあてはま

・オオマツヨイグサ

形 ↓

㊦

まい数 ↓

①
まい

・ツルニチソウ

形 ↓

㊧

まい数 ↓

㊨
まい

お母さんが、
に、
写真をとったから。
が

(4) 本文中に出てくる花で、花うらないに合っている、花
 の名前を答えなさい。



次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。

ユイとお母さんは、花うらないに使う花をさがして、お母さんがスマホでとった、花の写真を見えています。



「この花なんか、ピッタリじゃない。花びらの数も、そんなに多くなさそうだし。」

と、お母さんは上の写真を見せられました。

「へえ。花火みたいできれい。花びらが、取りやすそうだね。この花の名前はなんていうの。」

と、ユイ。

「これはね、マーガレットよ。」

「どこにさいていたの。」

「公園のはずれの空き地よ。ちょうど、夕立がやんだ後にとったのよ。」

「そうなんだ。これは、雨のつぶだったんだ。」

「こんな花もあるわよ。」

お母さんは、べつの写真を見せてくれました。

「花びらが丸いのが、オオマツヨイグサ。角ばっているのが、ツルニチソウよ。でも、ひと目見ると、花びらが何まいあるかが分かるから、うらないのけっかも、すぐに分かっちゃうわね。」

「そうか。オオマツヨイグサの花びらは、四まい。ツルニチソウの花びらは、五まい。『すき』、『きらい』……と、じゅん番に取っていったとすれば、オオマツヨイグサでうらなうと、『きらい』になって、ツルニチソウでうらなうと、『すき』になるんだね。」



(一) — 線部「この花」について、次の三つの問いに答えなさい。

A この花の名前は、なんですか。



B ユイは、この花を見て、どう思いましたか。空らん
にあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。

が、	
	みたいできれいだし、

だと思った。

C お母さんは、この花の写真を、どこでとりましたか。
本文中から、十字でぬき出そう。

(2) ツルニチソウについて、次のようにまとめました。
()にあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。
花びらは、(ア)いて、その数は(イ)まいなの
で、花うらないをすると、そのけっかは、『(ウ)』に
なる。

	(ア)
(ウ)	
	(イ)